

私立大学研究ブランディング事業 2020シンポジウムを開催しました

2020年2月22日（土）西九州大学佐賀キャンパスにて、私立大学研究ブランディング事業「発達障害児の二次障害予防支援研究～二次障害を予防し関係者の負担軽減を目指すために～」の一環で「発達障害児の二次障害予防にむけた縦と横の連携」2020シンポジウムを開催しました。当日は保育園・幼稚園・小学校・特別支援学校、施設関係者など専門職、総勢90名の方が参加されました。



福元裕二学長の挨拶



田尻博美 先生



司会の馬場由美子准教授

最初に、福元裕二学長から本学が目指す地域支援について挨拶がありました。続いて第1部は、本学の各研究グループより3年間の取り組みを総括した成果報告会が行われました。また、佐賀県健康福祉部障害福祉課 地域生活支援担当係長 土井慎一氏による佐賀県の発達障害者支援の取り組みについて、行政の立場で取り組まれておられるご経験に基づいた貴重な話を聞くことができました。

ディスカッションでは本学の西岡征子教授が司会を務め、ファシリテーターとして、発達障害児・者の自立支援等の取り組みを全国展開する株式会社LITALICOより田尻 博美氏をお招きしました。本学の各研究グループより研究A：高元宗一郎氏、研究B：津上佳奈美氏、研究C：武富和美氏、研究D：立川かおり氏、佐賀県健康福祉部障害福祉課 地域生活支援担当係長 土井慎一氏に同席いただき、田尻先生より各研究グループに対して質問とコメントを頂きました。



研究 A 高元宗一郎講師
研究 B 津上佳奈美講師



研究 C 武富和美准教授



研究 D 立川かおり講師



向かって左：田尻博美氏



障害福祉課 土井慎一氏



パネリストの先生方

第2部は、専門職のためのワークショップです。「発達特性に合わせた自立支援に必要なこと」をテーマに就労移行支援のお話を頂きました。また、ファシリテーターとして田尻先生の指導のもと各グループに分かれてグループワークが行われました。参加者の方も最初は戸惑われているようでしたが、専門の立場ということもあり真剣に取り組んでいらっしゃいました。



グループワークの様子

参加者の方からは「ワークショップがとても勉強になった」「ストレス緩和ケアを是非実施して欲しい」「会場の様子をみて皆さんの関心の高さが窺え勉強になりました」などの意見が多数寄せられました。今回の会や議論が発達障害児・者の自立支援等にかかわる方々への何らかの参考になれば幸いです。

ご来場の皆様、株式会社LITALICOワークスの田尻様及びLITALICOスタッフの方々、土井様、スタッフの皆様、誠にありがとうございました。



会場の様子